

子育て世帯への臨時特別給付金10万円をいち早く可決
 (新型コロナウイルス感染症対策)

報告第17号「専決処分を報告し、承認を求めることについて(令和3年度小郡市一般会計補正予算(第8号))」が提出され、全員賛成で承認されました。

【提案内容】

国の指針を受け、18歳以下の子ども1人当たり10万円のうち、年内に5万円を現金で先行支給するもので、残りの5万円は来春までにクーポンを基本として給付するものです。

【計上予算額】

事業費5億5千万円
 (給付金5万円×1万1千人)
 事務費328万3千円

全額現金一括支給へ

12月15日、方針を変更する政府指針が示され、新たな指針では、3つの方法(①現金5万円とクーポン5万円の分割支給②現金10万円を一括支給③現金5万円を先行支給し追加で5万円を支給する)のうち自治体の実情に応じて選択できるとされました。

政府の方針変更を受け、議案第54号「令和3年度小郡市一般会計補正予算(第10号)の承認について」が12月21日に提出され、全員賛成で可決されました。

【提案内容】

18歳以下の子ども一人当たり10万円相当の支給について、コロナ禍で苦しんでいる子育て世帯を支援するために市民の声を重視し、「使いやすい」「迅速性」「事務経費削減」の3つの観点から10万円を現金で年内に一括支給するため、支給方法を現金による10万円の一括給付に変更するものです。

【追加予算額】

事業費5億5千万円
 (給付金5万円×1万1千人)
 事務費34万5千円



インター周辺まちづくり構想(案)作成委託業務予算400万円全額削除
 議案第52号「令和3年度小郡市一般会計補正予算」を修正可決

市の提案内容

構想(案)の作成区域は筑後小郡IC周辺区域の約40〜50haと現在工事が進められている味坂SIC(仮称)周辺区域の約60〜100haです。小郡市のインターチェンジ周辺は、交通利便性が高い地区ですが、周辺には農地が広がり、基幹産業農業を支える上でも重要な土地です。そこで、4つのゾーン(農業ゾーン、産業活性化ゾーン、住生活保全ゾーン、賑わい・交流拠点の形成ゾーン)を基本とした土地利用構想(案)を作成し、コンパクトで活力ある郊外部のまちづくりを進め、インターチェンジ周辺が担うべき役割を検討します。

委員間討議での主な意見

●緊急財政対策計画期間の中、非常に大規模な事業になるのではないかと。今後、体育館や給食センター、消防署等の建替え等喫緊の課題がある中、今進めていくべきなのか疑問を感じます。
 ●小郡市全体のコンパクトシティ

の中でももう少し議論していくべきではないか。特に味坂地区の構想が全く見えなかったし、何もしないように感じました。
 ●市民の生活に密着した課題が数多くある中、今作成しなければならぬのかという観点で再度検討してほしい。

●このような大きな区画整理事業は、10億、20億のお金がかかるため、実現できる話ではないと思います。
 数多くの懸念事項が出されたため、再度執行部に説明を求めることとしました。

修正案提出、可決へ

再度説明を受けましたが、委員間討議で出された懸念事項を払拭する説明がなされなかったため、委員より、インター周辺まちづくり構想(案)作成委託業務400万円を全額削除する修正案が提出され、全委員の賛成をもって可決され、その後の本会議においても、同修正案が、賛成多数で可決されました。
 ※結果は15pをご覧ください

保健福祉常任委員会 活動報告



小郡市 母子寡婦福祉会との 意見交換会

令和3年11月1日、小郡市母子寡婦福祉会との意見交換会を行いました。主な内容は次の通りです。

会員相互の親睦や研修、子どもの学習支援などを中心に活動されています。しかし新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの活動を中止せざるを得ない中、会員との交流の場を失い、状況把握に苦慮されています。コロナ禍において、会員への情報発信・伝達など、紙媒体で行うには限界があり、SNSの活用も検討されるとのことでした。

当事者の方々が孤立しないよう、これまで以上に行政との連携を密にし、細やかな情報提供ができる体制づくりや活動できる組織づくりが必要だと考えます。

社会福祉法人 こぐま福祉会との 意見交換会

令和3年11月2日、社会福祉法人こぐま福祉会との意見交換会を行いました。主な内容は次の通りです。

こぐま福祉会は、地域と連携した「医療・福祉・教育の総合療育」を推進し、乳・幼児期から成人まで一貫した支援の継続を、40年もの間、地域の中核的な療育支援施設として、障がい児とその家族に支援サービスを提供されています。

今回、日ごろの取り組みや、国の政策方針及び現場の実情をわかりやすく説明いただきました。特に放課後等デイサービスにおいて、小郡市は関係自治体として、積極的に実態把握に努め、適切な運営をされるよう、各事業所との連携を強化していくことが必要です。

また、子育てに不安や悩みを持つ保護者支援として、「ペアレントプログラム」を導入してほしい要望があり、委員会として、行政と情報を共有しながら、保護者支援の更なる充実に向けて取り組んでまいります。

小郡市 老人クラブ連合会との 意見交換会

令和3年11月15日、小郡市老人クラブ連合会との意見交換会を行いました。主な内容は次の通りです。

全体的な入会者の減少を始め、連合会加入の単位クラブは22クラブまで減っています。その他クラブ活動へ参加する際の移動手段や事業のマンネリ化など、さまざまな課題を共有することができました。

特に高齢者だけでなく交通手段の問題については、本市の高齢社会における公共交通のあり方を明確にし、他市の先進事例を参考に現状の改善を図ることが、早急に取り組むべき課題であると認識しています。



おごおり議会だより 表紙写真を募集します!



開かれた市議会を目指し、
より市民に親しまれる市議会だよりにするために、
年4回（5月・8月・11月・2月）発行の
「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。
みなさまのご応募をお待ちしています。



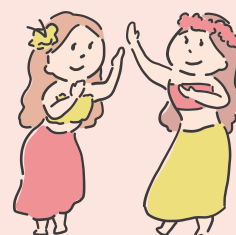
小郡市内在住、もしくは市内で勤務されている方、
市内に通学されている方、どなたでもご応募可能です。
市内の行事、四季の風景など記念に
議会だよりの表紙を飾ってみませんか？



テーマは「**元気!**」です!!



暗いニュースが多い昨今、明るく元気な
写真をお待ちしています!!



応募資格、応募方法、応募条件、注意事項は
小郡市議会ホームページに記載の募集要綱をご覧ください。

**応募いただいた写真を使った
議会だよりの表紙です**

